

# 賑わいのある「鉄道の街にいつ」の復活を目指して

目で見てわかる啓発活動

新津駅開業以来、鉄道が街の活性化に大きな影響を与えてきた新津。しかし、新幹線の登場により「鉄道の街」の活気を失いました。こうした中、「鉄道資料館」を核とした街中の再生と活性化を図ろうと地元商店街とともに賑わいのある「鉄道の街にいつ」の復活を目指すことにしました。

## 鉄道フォトの掲示

新津地域内事業所等の窓や壁面・車などに「SLの写真」を設置することにより「鉄道のまち」を訴求します。



いち番地イマイ本町店脇●本町通り



会議所前●本町通り



「SLばんえつ物語」号 ハイテク電車E233系



鈴木新栄堂脇●新津郵便局前



ぼっぼ前●本町通り



加茂信金前●本町通り



オ～サカヤ脇●本町通り



菓子工房マツサカヤ前●金沢町



石澤製作所前●草水町



## にいつ鉄道まつり

新津地域固有の鉄道の歴史及び文化を県内外に広くPRすることにより多くの観光客誘致を図り、他市町村にない地域振興及び活性化に寄与することを目的として関係者が一体となり毎年実施しています。

## 新津鉄道商店街の開催

新津地域内商店に「鉄道資料館」や市民所有の鉄道資料を展示することにより商店街への誘客と活性化を図ります。

## 鉄道資料館の活用

鉄道に関する保存展示施設。国鉄時代の展示が充実している。また本県は豪雪地域にあり、鉄道の除雪、雪崩対策に関する展示など地域色が強い展示内容です。



## 鉄道系アイドル SL-C57の誕生

新津商工会議所青年部プロデュースにより結成された鉄道系アイドルSLC57(エスエルシーゴジュウナナ)。9月16日に行われたイベントでは、歌とダンスを初披露! 地域の人と一緒に作りあげていき、「鉄道の街にいつ」をPRしていきます。



▲8月12日「SLばんえつ物語」号セレモニーに参加



ミニSL C21 212号

鉄道文化を生かした地域活性化を目指す新津商店街(協)連合会が、イベントなどで運行するため、本物のおよそ10分の1サイズの石炭を燃料とするミニ蒸気機関車を購入しました。



## しごなな 駄菓子や昭和基地一丁目C57

街の賑わいとコミュニティの創出を目的に平成22年7月15日にオープンした駄菓子屋。常時300種類以上の駄菓子・駄玩具を扱っています。また、お店の奥では、もんじゃ焼きやあげパン、ジュースやコーヒーなどが楽しめる喫茶スペースとレトロなゲームコーナーがあります。開店から2年で約8万人もの来客者数を数えました。

## しごなな焼



鉄道にちなんで開発したご当地グルメ「しごなな焼」。大きさは、縦4cm、横11cm、厚さ3cm。価格は1個100円。中身は定番のアンコその他、ソーセージやオリジナルのものも販売していく予定です。

## 東日本旅客鉄道(株)新津車両製作所

新津車両製作所は、素材から一貫したシステムで電車を造る製造機関として1994年10月に操業を開始いたしました。現在、年間250両のペースで電車を製造しており、鉄道会社が直轄でこれだけ本格的に鉄道車両を造ることは、1872年に開業した日本の鉄道の歴史のなかでも初めてのことです。(新津車両製作所ホームページより)



## 「SLばんえつ物語」号

平成11年4月に29年ぶりに復活した蒸気機関車。新津第一小学校に静態保存され、旧新津市民や磐越西線沿線市町村等の多くの人々の復活への熱い思いが復活運転の原動力となりました。



これからも商店街と地域の活性化を目指して「鉄道の街にいつ」の啓発活動に取り組んでいきます!